

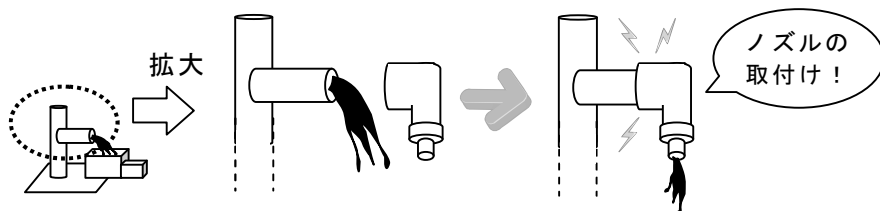
自噴井戸の節水方法

貴重な水環境である自噴井戸を将来にわたって守っていくためには、自噴井戸の所有者の皆さんも地下水を保全する意識を持ち、節水に取り組むことが必要です。そこで、自噴水を節水するための3つの具体的な方法をご紹介します。

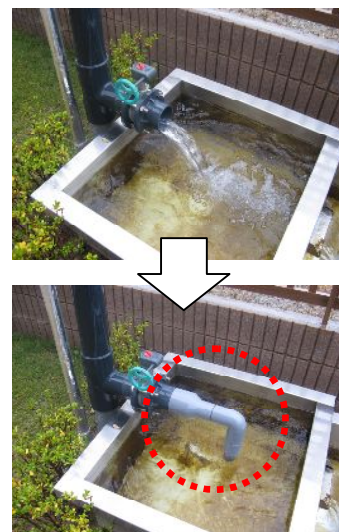
方法その1

最も安価な節水方法！ 小径ノズルの取付け

自噴井戸の吐出口に口径の小さいノズルを取り付け、自噴量を絞ります。自噴量の調節はできませんが、比較的安価で、大規模な工事も不要な節水方法です。



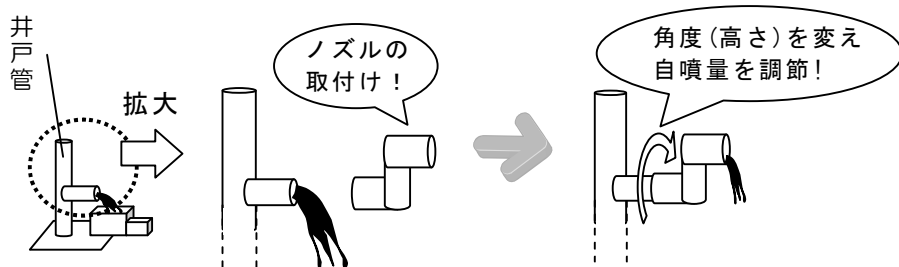
- ① 自噴量を踏まえて現状よりも小径のノズルを選びます。
- ② 吐出口にノズルをはめ込み、固定します。
(自噴量の少ない時期は、外すこともできます。)



方法その2

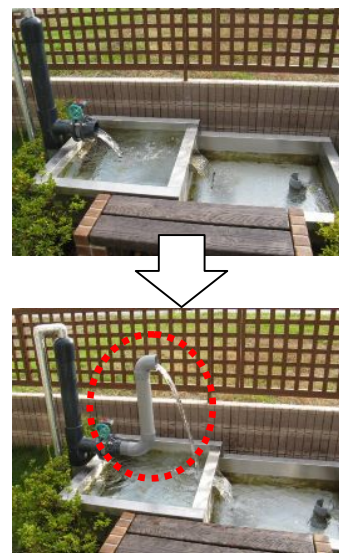
安価でかつ水量調整もできる！ 吐出口高さの変更

自噴井戸の吐出口に、ノズルを取り付け吐出位置を高くします。吐出位置が高くなると、自噴量が減少します。また、ノズルの取付け角度を変えることにより、自噴量を調整することができます。



- ① 井戸管の高さ、自噴量を踏まえてノズルを選びます。
- ② 取り付けしたノズルの角度により吐出口高さを変え、自噴量を調節します。

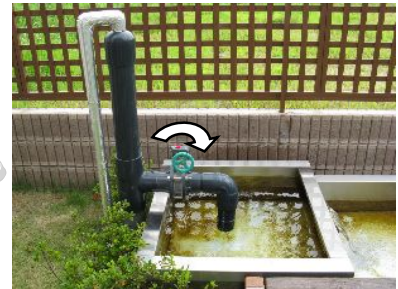
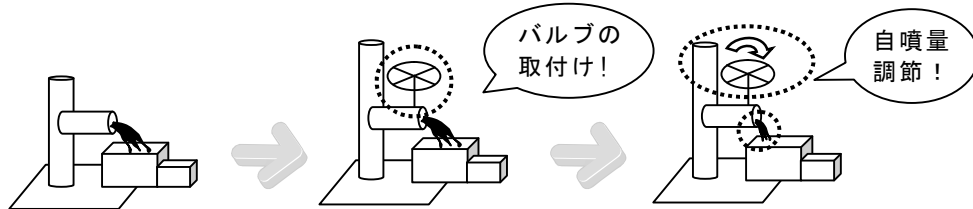
※ 吐出位置を井戸の自噴高以上に高くすると、吐出口から自噴水が出なくなります。



方法その3

自噴量の調節が自由自在！ 節水バルブの取付け

自噴井戸の吐出口にバルブを取り付け、バルブの開度により自噴量を調節します。バルブで絞ることにより自噴量を減らせるので、最も確実な節水方法です。



- ① 井戸の吐出口に合ったバルブを取り付けます。
- ② 取り付けしたバルブを回し、自噴量を調節します。



全開状態の自噴量の
半分程度を目安に！

節水対策の注意点

- 自噴量を絞ると井戸管内の水位が高くなり、井戸管の上部の隙間から水が漏れるおそれがあるため、井戸管のかさ上げ工事が必要となる場合があります。
- 自噴量の変化は、井戸管内や地中での圧力の変化を伴います。バルブの調節を頻繁に行ったり、自噴を完全に止めたりすると、自噴水に砂が一時的に多く混じることがあります。

お問合せ先



自噴井戸の節水対策に関することは…

〇〇市〇〇課

電話：〇〇〇-〇〇〇〇



具体的な節水方法など、井戸に関する技術的なことは…

富山県さくせい鑿井協会

富山市新庄町1丁目19番2号

電話：076-441-4257

富山県さくせい鑿井業協同組合

富山市向新庄町1丁目15番54号

電話：076-452-2061